

会議録

会議の名称	平成27年度第2回加東市まちづくり推進市民会議
開催日時	平成27年10月21日（水）午後3時～午後5時5分
開催場所	加東市滝野図書館 3階 会議場
議長の氏名（座長 梅野巨利） 出席及び欠席委員の氏名 <出席委員> ・遠藤 智久 ・佐々木正利 ・下山 絹子 ・田中和美 ・梅野 巨利 ・遠藤 久男 ・黒崎みどり ・石田れい子 ・豊福 乃子 ・内藤 直子 ・原 勝彦 ・平川 米一 ・藤本 善仁 <欠席委員> ・宮崎 良平 ・廣畑 恒子 ・前田 友子 ・増田 正一	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・協働部長 芹生 修一 ・協働部企画協働課長 長谷川 茂 ・協働部企画協働課副課長 前中公和 ・協働部企画協働課主幹 小林 寿泰	
説明者として出席した市の職員 ・市民生活部長 松本 和久 ・福祉部長 丸山 芳泰 ・病院事業部事務局長 大橋 武夫 ・教育部長 堀内 千穂 ・市民生活部保険・医療課長 古田 昭浩 ・市民生活部健康課長 二木 佳子 ・福祉部社会福祉課長 堀田 敬文 ・福祉部高齢介護課長 藤井 康平 ・福祉部子育て支援課長 山本 京子 ・病院事業部事務局病院管理課長 柳 博之 ・病院事業部事務局病院医事課長 藤川 憲二 ・教育委員会事務局教育総務課長 大橋 博英 ・教育委員会事務局生涯学習課長 黒崎 徳弘 外11人	
1 議 題 (1) 加東市総合計画後期基本計画の進行管理について (2) 次回の市民会議の日程について 2 会 議 資 料 平成26年度総合計画主要施策進行管理シート （政策Ⅰ（主要施策コード10101）及び政策Ⅲ） ほか 3 会議の経過 ⇒別紙「平成27年度第2回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過」のとおり	
平成27年12月25日 座 長 梅 野 巨 利 副座長 佐々木 正利	

(別紙) 平成27年度第2回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
	1 開会 事務局 2 挨拶 梅野座長 3 協議 (1) 加東市総合計画後期基本計画の進行管理について(平成26年度総合計画主要施策進行管理シート(政策Ⅰ(主要施策コード10101)及び政策Ⅲ)) ○主要施策コード10101について、担当部署から説明 【質疑応答等】 ◆主要施策コード10101:市民文化の創造の促進 ※前回会議において、再度1次評価を行い、改めて今回の会議に提出することになったもの
座長	・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。
	○主要施策コード30101～30201までについて、担当部署から説明 【質疑応答等】 ◆主要施策コード30101:親子の健康づくり
委員	・シートⅢの3行目「パパママクラスの内容を工夫し、母性、父性の育成に努めるとともに」と書いてあるが、学校教育の延長線上にある時期における母性、父性の育成という取組において、教育委員会とリンクしているところがあれば教えていただきたい。
部長	・教育委員会として福祉と教育の連携は必要であると考えている。家庭教育についても当然関係してくることであるので、関係機関との連携という枠の範囲内で福祉、教育、あるいは子育て支援とか、そしてまた健康課、そういったところと連携しながら行っている。
委員	・児童館では、小学6年生の児童がゼロ歳児をだっこさせてもらったりするなどの触れ合いというのを取り入れられている。もしかしたら、学校の取組としてもあるのではないかと。そういうところで少しずつ小学生のうちから父性や母性を育むことについては、教育委員会も多少なりとも関わっているのではないかと思います。
	・シートⅢの評価、現状・課題認識のところの一番最後に「少子化・核家族化・地域のつながりの希薄化など、地域におけるサポート力が弱くなってきている」ということに対して、下の改善策で、「サポート体制のさらなる充実を図っていく」と書いてあるが、具体的な案があるのであれば、聞きたい。
主幹	・平成27年度からは、妊娠届出時に専任の保健師が子育てサポートという形で面接し、そのときに妊娠、出産、子育てに関するサポートについてともに考えている。地域で子育てができるように見守りを進めていけたらと思っている。
委員	・パパママクラスというのは産婦人科のほうでされている事業なのか、健康課のほうでもされているのか。そういう事業を児童館で地域の人を集めてやれば、妊婦さんにとっては、いろんな話が聞けたりするので、それも一つの手かなと思う。児童館へ妊婦のときから行っておれば、後も行きやすいと思う。妊婦のうちから児童館を少しずつ利用できるようなになればいいと思う。
主幹	・現在、児童館とは連携事業として、4か月健診のときに児童館のPRなどもしているが、妊娠届出時のときから児童館というサポートする場所があるということをしてPRしていけたらと思う。
委員	・シートⅡ-②に「早寝・早起き・朝ごはん運動」というのがあるが、学校関係者から朝御飯を食べない子どもが最近非常に多いということを知った。最近の子どもの一つの特徴としてキレやすいということもあると思うが、ごはんを食べずに給食まで空腹で生活しているというのが一つの要因ではないかと思う。この取組について具体的に教えていただきたい。
副課長	・毎年11月の3週間、市内保育園、幼稚園の年長児を対象に早寝・早起き・朝ごはんの3項目について目標を決め、各家庭で取り組んでいただくという、こどもサ

	ンサンチャレンジという事業を、平成23年度から実施している。達成ができた場合は、チャレンジシートにシールを貼るなど、少しおもしろみもつくってチャレンジをしていただいている。
委員	・この取組の具体的な内容について、親御さんに対して何か資料を提供するとか、そういうものは何かないのか。
副課長	・資料は提供している。チャレンジ前、チャレンジ後がどのようになったかなど、そういった結果についても保護者の方にお知らせしている。
委員	・食育という観点において、朝ごはんをきっちり食べるというのは非常に大切であると思う。そういう点についてさらなる改善をお願いしたい。
委員	・朝ごはんを食べてこない子については、やはりキレやすいとかにつながっていると思う。指標4の朝食の摂取率は、アンケートの結果によるものだと思うが、現実はどうなのか。関わっておられる先生たちはどう思われているのか。
課長	・保育所でも朝ごはんを食べていない子どもが何名かは必ずあり、その家庭に対して保育所と連携して、臨機応変に対応しているといった状況である。率については、把握していない。
委員	・アンケートも大切であるが、実際はどうなのかというところまでを調べていただきたいような気もする。
座長	・1次評価はAであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もAとする。
	◆主要施策コード30102：子育て支援サービスの充実
委員	・指標1、指標2の子育て支援に関わった市民の割合や協力する市民の割合の評価がCになっているが、これはとても重要なことなのに、なぜもっと数字で訴えて支援を求めないのか疑問に思う。平成24年度、平成25年度は調査していなかったという何か理由はあるのか。
事務局	・平成23年度の基準値は、後期基本計画を定めるに当たって調査した結果であり、平成26年度の数値は、基準値からどのように変化しているかということ把握し、評価するために実施した調査の結果である。この数字に基づいて今後の取組をどのように改善していくか、さらに推進していくか、そういったところを検討するために実施した調査であることから、平成24年度と平成25年度については、その数値がないということである。
委員	・指標1、指標2はすごく大切なことだと思うが、これらがC評価で、総合評価の1次評価がAというのはどうかと思う。これらの指標がC評価になった原因とか今後の対策については、何か考えているのか。
課長	・このような結果になったことについて、すごく反省をしている。子育て支援の取組としていろんなことを頑張ってやっていくという思いの中で、この数字とリンクしていないというところが残念なところである。いろんな制度を取り入れている中で、PRができていなかったというところが反省点である。
委員	・この主要施策の2次評価はBだと思う。
委員	・指標1の「子育て支援に関わった市民の割合」の結果の分析において、人間関係の希薄化や地域の都市化というのは、ある意味逃げ言葉だと思う。私も含めてそう思うことは確かにあるが、この言葉を使えば7%でもいいのかなという感じであり、やはりそういう言葉には逃げてほしくないと思う。今後のためによりしくお願いしたい。
委員	・シートⅢに「東条地域に認定こども園への移行予定の保育所がない」と書いてあるが、これはどうしてなのか。東条地域の保育所の方々と話はしたのか。
課長	・認定こども園については、保育園の園長等で構成する施設長会の中で説明をしている。また、保育士さんを対象に説明会や研修会も開催しているが、保育所側での考え方で、今のような結果になっている。ただ、認定こども園への移行については、今後も推進していきたいという思いを持っているので、引き続き、説明やお願いをしていきたい。
委員	・是非そういう方向でやってほしいと思う。指標の評価でCが2つあるのに、1次

座長	評価のAはおかしいのではないかという気がする。 ・シートⅢの改善策に指標1、指標2に係る対策を記載されるほうがいいかもしれない。 ・1次評価はAであるが、意見を踏まえ、2次評価をBとするほうが良いと思うがどうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・二次評価はBとする。
委員	◆主要施策コード30103：要支援児童対策の充実 ・シートⅢの1行目に「現在3か月に1回実務者会議を開催し」と書いてあるが、実務者会議のもう一つ上の会議はあるのか、もしあるとしたらどういう名称の会議なのか。
主幹	・3か月に1回の実務者会議の上に年1回であるが、代表者会議を開催している。代表者会議には、実務者会議に出席いただいている部署のトップの方に出席いただいている。
委員	・正式名称がある会議なのか、それとも、実務者会議にそれぞれの上司に加わっていただくような会議なのか。
主幹	・要保護児童対策地域協議会代表者会議という名称であり、そこで事務局のほうから実績報告をしている。
委員	・保育所運営については、アルバイトやパートの力も借りて運営されていると思うが、その場合、正職の保育士の負担がやはり大きくなると思う。正職保育士の底上げができないのであれば、パートとかアルバイトのスキルアップであったり、休職している保育士を発掘するなり、そういうことを今後見通されているのかをお聞きしたい。
課長	・御指摘されているとおり、本当に保育士という仕事はすごく大変な仕事で、負担がかかる仕事であると認識している。今、公立保育所では、クラス担任については正職員、嘱託職員がしており、アルバイト職員については副担任、加配とかという形になっている。その中で研修については、保育協会も大変熱心で、必ずアルバイト職員まで全体に声かけをして、参加率もすごくいいと言っているような状態である。身分とかについては、今の段階では、はっきりしたところの方針は出ていない。
委員	・正職員が大変なのを正職員で補おうという感じではないということなのか。正職員が足りない分をアルバイトやパートで補う形で、今後もやっていくということか。
課長	・公立では、今4年ほど続けて正職員の採用をしており、少しずつ充実させているような状況である。
座長	・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。
委員	◆主要施策コード30201：健康増進の推進 ・シートⅢの4行目に「様々な機会を通して、心の健康づくり、感染症予防等」と書いてあるが、心の健康づくりの評価指標というのは、どのように考えているのか。
主幹	・心の健康づくりについては、国の自殺予防対策というものがあり、それに基づき実施している。評価指標としては、過去3年間の人口10万人当たりの自殺者数、これを平均自殺率というが、これをもって評価している。
委員	・自殺予防対策からとった指標ではなくて、もう少し前向きというか、今回道徳教育が正式に特別教科に取り入れられたりしているが、自殺予防というマイナスではなくて、もう少しプラス思考の指標は加東市ではないのか。
主幹	・健康課では、加東市健康増進計画の中で、ほかに2つ達成したい目標を上げている。1つは、日常生活でのストレスや不安をいつも感じている人の割合、それからもう一つ、心配事や悩みの相談先がない人の割合を上げている。自殺率の指標を含

座長	めた、この3つで心の健康づくりの評価をしていきたいと考えている。 ・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。 ○主要施策コード30301～30402までについて、担当部署から説明 【質疑応答等】
委員	◆主要施策コード30301：高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進 ・シートⅢにまちかど体操教室を継続して進めていくとあるが、どのようにやっているのか。
課長	・当初20グループずつという目標を立てており、平成25年度では20グループ、平成26年度では14グループ、合計34グループが立ち上がった状況である。目標が達成できていないので、平成27年度においては取組をされてない地区に対して応急的に普及啓発を行った。ただ、リーダーになられる方がなかなかおられないというところもあり、今年度では今7グループができたというところでとどまっている。ケーブルテレビでの啓発、また、商工会など女性の方の力というのは大きいので、そういう方にもお願いをしているが、今のところ、すぐ効果が出ているような状況ではない。
委員	・こういうことは区長会でも話題にはならないのか。老人に特定するのではなくて、例えば区長会でもいいが、パンフレットを持って回るとか、介護関係のところをお願いするとか、そういうのは大切だと思う。まちかど体操は、子供から大人までみんなやってもいい体操であれば、みんなに普及するようにしたほうがいいのではないか。
課長	・区長会にも今後お願いしたいと思う。一応介護保険の事業では、基本は65歳以上の方を対象にしているが、少し若い方も入っていただいているところもあるので、参考にさせていただきたい。
委員	・区長会のほうでは一応そういう案内はいただいているが、区長会自身が、それについていろいろ議論してやっていこうという動きまではしていない。
委員	・まちかど体操教室については、介護保険の事業の一環であり、各地域におられる民生委員がそれぞれの地域の中で老人会の方、グラウンドゴルフをされている方などに話を持っていっている。団体、地域のリーダーも多分民生委員からあがっていると思う。地元でもやっているが、現在、平均で毎週30人が参加している。やはり口コミで広まっているようで、初めはそんなには多くなかったが、定着してきている。地区の協力も得ながら、対象は老人会の方、会員以外のその年齢の方などが介護予防の関係から続けている。皆、楽しみにしているので、される方としてもやりがいはある。
委員	・地元において、公民館での伝の助体操の実施を提案したが、賛同者が少なく、そういう高齢者の体操をスタートできなかった。公民館を拠点にしてそういう健康づくり取組をしたいと思って活動をした時期もあったが、残念ながら伝わらなかったのが心残りである。
委員	・家族に高齢者がいるが、老人会に入っていないので、そういう情報は老人会のほうからも何も来ない。一人では行けないということもあるので、家族が一緒に行ってくれたら行くという形になると思う。だから、若い人にも声をかけていただきたい。
課長	・ボランティアの力なくして、この事業はなかなか前に進まないこともあるので、今からそういうことも視野に入れて進めていきたい。
座長	・1次評価はAであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もAとする。
委員	◆主要施策コード30302：介護サービスの充実 ・シートⅢに「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を整備」と書いてあるが、これから先、ケアマネジャーからすると、この支援があれば無駄なサービスの

課長	抑制には十分つながっていくかなと思うが、具体的に市のほうで中心になってそういった事業所を立ち上げるのか。
委員	・今年度に、事業者の公募をかける予定で動いている。11月から12月にかけて、既存の事業者への案内、また、ホームページ、広報紙等でもその募集をかけて、今年度中に手を挙げていただく事業者を選定していきたいと考えている。まだ予算が確定していないので、動いていただくのは平成28年度以降になるが、選定については先行して動いていきたいと考えている。
課長	・今から加東市内にある事業者に募集をかけるということか。
委員	・案内するのは加東市内の事業者、また、ホームページ等にも載せるので、十分啓発はできると考えている。
課長	・家族に高齢者がおり、今在宅で見ている。ショートステイなど、高齢者に対するいろんなサービスを利用しようと思っても急に利用できないとか、満床であるとか、なかなかそういうサービスが受けられない状態である。どういうサービスがあるかということ、ケアマネジャーが言ってくればわかるが、こちらからこんなサービスありますか、ということをよくわからなくて聞きにくいので、もっともっとPRしていただきたい。いろんなサービスの提供に関する情報をもっと欲しいが、その辺はどうなのか。
課長	・3年ごとに介護保険事業計画の見直しをしており、平成27年度からの第6期の計画を立てた時点で、チラシやパンフレットを作成し、パンフレットについては全戸配布した。直接話ができればいいが、基本的にはチラシであるとかケーブルテレビなどでの周知ということで対応している。
委員	・困ったときに尋ねていかなないとわからないということか。
課長	・内容の確認をしていただいている動きをとっている状況である。
座長	・一次評価がAであれば改善策がこんなにたくさんなくてもいいのではないかと思う、前向きでいいと思うが。自己評価した結果よくできたと、それを改善するというのは今後の見通しで、今後の目標であると思う。いくらでもやることはあるので、もっと簡潔に書いてもいいのではないかと思う。たくさんあると、一次評価がAなのになぜ改善策がこんなにあるのかと違和感を感じる。
課長	・2課にまたがっている関係で、ボリュームが出てしまったというところがあるので、今後調整したいと思う。
座長	・1次評価はAであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もAとする。
委員	◆主要施策コード30401：障害者福祉の充実 ・シートⅢに障害者優先調達推進法に基づく方針により、目標を20万として46万強の実績を収めたと書いてあるが、この法律であるが、目標値は、前年度の達成数値を上回る数値とするとなっているが、どうなのか。
課長	・制度が始まったときは20万円で、今年度は50万円の目標を上げている。
委員	・3040103のシートに記載してある取組は、別のものなのか。
課長	・同じものである。
委員	・では、この財源というか費用は、どのように見ればいいのか。
課長	・当初は社会福祉課だけの事業として目標値を設定して、取り組んでいたが、途中から課ではなくて市として取り組んでほしいということになったので、他課の事業の中でできることはないかとお願ひして集めたところ、46万7千円という成果につながった。事業費を30万円とか40万円にしたらいいいところであるが、実績から見て上回る数値を目標とするという方針できたので、平成27年度は50万円を目標としている。
委員	・平成25年度が54万3千円、平成26年度が46万7千円、予算なんで50万円計上できないのか、とれないのかわからないが、平成25年度、平成26年度の額についてもよくわからない。
課長	・目標値の20万円の設定は、平成26年度から指標を出すようにという国からの指示があった分であり、それまでは通常の就労支援の中に入っていたが、法で決ま

委員	ったのが平成26年度からということで20万円の設定をした。 ・事業の経費は、切り離して考えないといけないと思う。この法律にあるように、この事業は、すごく大切な事業だと思う。だから、数値が上がっていてもいいと思うが、ずっと下がってきている。
課長	・予算については、平成25年度までは社会福祉課で持っていたが、他課が依頼する分はその課で予算を持っている。ここでは、社会福祉課だけの予算を上げているが、他課でも何十万という形で予算を持っている。目標は全体の数字を上げている。
委員	・すごくわかりにくいので、できれば市全体として考えて、ここで評価していただきたい。
部長	・平成26年度実績は、市全体の全ての実績が上がったので、その成果を書いているが、平成27年度予算は、社会福祉課での予算であり、これもこの事業に充てていこうということで記載しているが、他課の分でこの事業に充てる予算が判明し切れなかったで、このような書き方している。実際、決算額については、目標額を50万としているが、それを超える額になってくると期待は持っている。
座長	・社会福祉課のほうの予算は20万しかない。市全体でやると50万を超えることになる。残り30万、いろんなところで予算を持っているということであるが、出し方として、社会福祉課は20万で全部で50万っていうのはおかしくないか。
事務局	・事業としては市全体で考えられるので、市全体で考えた場合の数字がどうなるのかということについては、今回の会議までにお示しさせていただくということをお願いしたい。
座長	・全体でないとおかしい、課だけの話ではないと思う。
委員	・1次評価がAになっているが、シートIの指標を見るとAは1つしかなくてB、B、C、その中にCがあるのに、これをAにするのは、私の物差しでは考えられないが何かあるのか。
課長	・指標4の障害者の一般就労に結びついた人数について、75%ということでC評価にしている。ただ、直接就労が3名という形になるが、社会福祉課では、学校のほうから就労されている方についても全て関わっている。その関わりを含めると4名以上になる。そういう方を入れれば4でも5でも数字は上げれたが、最終的には直接就労という形をとったので、評価がCになっている。
委員	・その指標の評価がBであっても、1次評価はBであると思う。Aにはどう転んでもならないのではないのか。こういう議論をするのは時間的に無駄なので、最初からきっちりとした評価をしていただきたい。
委員	・今の発言で、A、B、Cとそれぞれの指標ごとに評価されているが、Bが2個、Aが1個、Cが1個だから何となくBという感じがするが、数字で評価せざるを得ないのであれば、重み関数というか、指標1の重みはいくら、指標2の重みはいくらという、その数字に変換して、それで客観的に誰が考えてもAだな、Bだんっていうのがわかるようにしなくてはいけないんじゃないかと思うがどうか。
事務局	・総合評価については、シートIのA、B、C判定をしている分だけで評価をしているわけではなくて、その後ろのシートIIの各事業の評価も含めて総合的に評価するという形をとっている。数値化するという事は非常に合理的であってわかりやすいとは思いますが、そのようなこともあって、このような場で外部評価ということで協議をいただいているところである。御理解いただきたい。
委員	・評価のところで、皆さんが納得できるように、やはりそういう部分もきっちりと説明していただきたい。こういう修正は、我々としても余りかけたくない。
座長	・確かにシートIの最後は評価Cとなっているが、4名のうち3名であり、数字のマジック的なところで、1人の差でC、評価区分で判断すればCであるが、かなりいいのではないかと。しかも、説明があったように、学校を通じてやっている部分、そういう数字には出ない努力というのは最後のところで評価して、シートIでは一部を評価されたのかなとは思っているの、総合評価はAでいいのではないかと個人的には思う。
委員	・Aにしたいという思いはあって、なるほどということであつたらいいが。下げるのが目的じゃなく、正当な評価をするということが目的である。これでは、その辺

座長	がわからない。一次評価だけを見たら、どう転んでもおかしいかなという感じがするので、その辺をきっちりと説明していただきたい。 ・シートⅠの評価Cが文字としては少し目立つが、先ほど言われた補足説明をつけて、総合評価ではこうだけれどもこうなって我々はAとして評価していると言っていただければ、我々のほうとしてもきっちりとした評価ができると思う。 ・先ほどの補足説明を踏まえた上で、二次評価もAということかどうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もAとする。
委員	◆主要施策コード30402：要援護者に対する支援 ・シートⅢに「就職に至っても長続きしないケースが多い」と書いてあるが、この長続きしない方を再度支援しているのか。それとも、半年後とか1年後とかに訪問して、辞めたということを知って、また支援を行っているのか、その辺の循環というところを聞きたい。
副課長	・対象者については、今まで仕事の経験がないような方に対して就職の支援をしていくわけであるから、就職したとしても経験のない方がなかなか続かないという現状がある。ということから、就職の前の段階の就職の準備支援みたいなものを、同時にやっているという現状である。
委員	・生活困窮者は、就職して、働いている方が多いのか。そうではなくて、就職に至っても長続きしない、これまで仕事をすることがない人たちのことなのか。
副課長	・いろんなケースがある。なかなか就職に至っても長続きしないという方は、今まで仕事の経験がない方が多いということである。
座長	・1次評価はAであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もAとする。
	○主要施策コード30501～30602までについて、担当部署から説明 【質疑応答等】
座長	◆主要施策コード30501：地域医療サービスの充実 ・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。
委員	◆主要施策コード30502：医療保険・社会保障制度の確立と充実 ・加東市のまちぐるみ健診の中には、エコーは入っていないのか。その理由は何なのか。まちぐるみ健診を受けておられた方がお腹が痛いということで、別のところでエコーを受ければ、がんが見つかったというようなことがあった。
課長	・まちぐるみ健診は集団健診で行っており、1日当たり200人から300人、400人と受けられる。エコーについては、所要時間、費用対効果等があり、症状がある方については、医療機関のほうでということをお勧めしているので、今のところ集団検診では行っていない。
委員	・臓器によっては全然前兆がないということもあるので、できたら考えていただきたい。さきほど話があった、人数的な制約や費用的なものはどうなのか。
課長	・今はっきりエコーの費用はお伝えできない。人間ドックは、エコーの設備のある施設で行っているが、集団健診は、庁舎、とどろき荘などで行っており、エコーの機械を持ち出してできる環境が整っていない。費用対効果も考え、今後の検討だと思っている。
委員	・費用が余りかからないのであれば、台数を増やすということも含めて、できるのであればやっていただきたい。
座長	・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・2次評価もBとする。

委員	◆主要施策コード30601：保健・医療・福祉連携のネットワークづくり
課長	・地域包括支援センターは、旧庁舎のときはラポートやしろのところにあったと思うが、庁舎が建て替わって、市役所の組織や配置も変わった時点で、サブセンターが現在どうなっているのか、全体像がつかめないの、そのあたりを少し補足してほしい。
委員	・新庁舎が建つまでは、ラポートやしろに地域包括支援センターがあり、滝野と東条の庁舎にサブセンターを置いていた。新庁舎になった関係で、滝野と東条の庁舎が使えなくなったので、社協に委託して、とどろき荘とはびねす滝野にランチという総合相談の窓口を1つずつ置いている。また、市民病院のほうにサブセンターを設置している。現状としては、市役所に包括支援センター、市民病院にサブセンター、ランチが東条と滝野にそれぞれ1か所ずつあるという現状である。
課長	・社協は、社団法人か。
委員	・社会福祉法人である。
課長	・社会福祉法人は、ほかの法人と違って、一般や公益という区別はないのか。
座長	・社協について、それについては、はっきりしたことは言えないが、社会福祉法人として地域に密着して今までからそういう事業をしていただいていたので、総合相談的な状況を把握できているという意味で委託をしているという状況である。
座長	・1次評価はAであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
	・2次評価もAとする。
	◆主要施策コード30602：地域福祉活動の促進
	・1次評価はAであるが、それでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
	・2次評価もAとする。
	(2) 次回の市民会議の日程について 次のとおり決定 日時：平成27年12月24日（木）午後2時～ 場所：加東市役所 2階 201会議室
	4 その他
	5 閉会 佐々木副座長